

# 企業経済研究会活動 50 年の軌跡

～ Part 2 ～

(1989 年 5 月～2009 年 4 月)

(敬称は省略させていただきました。)

1989年度企業経済研究会（幹事校：日本大学）

■5月例会（5月20日 立教大学）

1. 出見世 信之（明治大学）「マーシャルの株式会社論の考察」
2. 郭 洋春（立教大学）「1980以降の韓国財閥の変容について—国家・外資との関係を中心に—」

■6月例会（6月17日 慶應義塾大学）

1. 大西 勝明（専修大学）「書評・野口祐編著『ソフトウェアの経営管理』税務経理協会」
2. 岩坂 和幸（宮古短期大学）「日本企業の海外進出と日本的経営の移転」

■7月例会（7月1日 専修大学）

1. 青山 茂樹（静岡大学）「日本的経営論の再検討—日本企業の海外現地生産との関連で—」
2. 野口 祐（慶應義塾大学）「欧州統合とCIMの役割」

■【東西合同研究会】（9月12日 福岡大学）

- 井上 秀次郎「戦後日本の生産管理の展開」  
＜コメンテーター＞貫 隆夫先生（武蔵大学）

■9月例会（9月30日 駒澤大学）

1. 安藤 陽（埼玉大学）「書評・藤本光男著『ミッテラン政権と公企業改革』同文館」
2. 高橋 由明（中央大学）「ME技術革新の国際比較に関する報告」

■10月例会（10月21日 中央大学）

1. 瀬川 新一（慶應義塾大学）「現代企業の所有と支配について—J. Scottの諸説を中心に—」
2. 國島 弘行（小樽商科大学）「1920年代の経営戦略」

■11月例会（11月18日 駒澤大学）【シンポジウム】「イノベーションと企業政治」（例会振替）

■12月例会（12月23日 日本大学）

1. 桜井 徹（日本大学）「ドイツ連邦鉄道の経営改革について—日本国有鉄道の『分割・民営化』との比較において—」
2. 木元 進一郎（明治大学）「書評・長谷川広著『現代の労務管理』中央経済社」

■1月例会（1月20日 立教大学）

1. 秋野 晶二（立教大学）「企業における情報システムの展開と経営管理」
2. 赤羽 新太郎（専修大学）「日本企業の国際化について」

■3月例会（3月17日 法政大学）

1. 一寸木 俊昭（法政大学）「書評・丸山恵也『日本的経営の構造とビヘイビア』日本評論社」
2. 日高 定昭（作新学院大学）「経営学の体系を考える—カンピオン『私企業論』にふれて—」

■4月例会（4月21日 専修大学）

1. 大西 勝明（専修大学）「書評・林倬史『多国籍企業と知的所有権』森山書店」
2. 堀越 芳昭（山梨学院大学）「協同組合資本学説の研究—協同組合と株式会社」

1990年度企業経済研究会（幹事校：中央大学）

■5月例会（5月19日 明治大学）

1. 青木 俊昭（東京情報大学）「航空産業における民営化と規制緩和の意義について—IL0報告『民間航空における経済的技術的革新』を中心に—」
2. 小松 章（埼玉大学）「企業形態（論）の新局面」

■6月例会（6月16日 立教大学）

1. 太田 正（立教大学）「外部効果と料金規制—地方公企業の経営維持をめぐる—」
2. 百田 義治（駒澤大学）「内部請負制度下の労働と管理」

■7月例会 (7月20日 専修大学)

1. 吉田 敬一 (東洋大学) 「東ドイツ社会主義建設過程から何をいかに学ぶのか」
2. 林 倬史 (立教大学) 「日本企業の国際競争力」

■【東西合同研究会】(0月5日 東洋大学)

林 正樹 (中央大学) 「フランス自動車産業における生産システムの「合理化」-『日本の経営』の導入を中心にして-

■10月例会 (10月20日 日本大学)

1. 井上 照幸 (高崎経済大学) 「社会主義企業変革の底流」
2. 高橋 由明 (中央大学) 「書評・加藤祐治・牧野富夫編著『ホワイトカラー』新日本出版社」

■11月例会 (11月17日 中央大学) 【シンポジウム】「現代社会主義の諸問題」司会・森 章 (明治大学)、井上 照幸 (高崎経済大学)

1. 加藤 志津子 (明治大学) 「ソ連における経済のペレストロイカと労働へのモチベーション」
2. 儀我 壮一郎 (常葉学園浜松大) 「中国の社会主義企業」
3. 角瀬 保雄 「社会主義の危機と批判経営学の課題」

■12月例会 (12月22日 慶応義塾大学)

1. 所 伸之 (中央大学) 「人事情報システムの導入と共同決定-西ドイツの経営組織法の事例」
2. 池田 正孝 (中央大学) 「最近の自動車部品のメーカーの生産自動化の動き-JIT マニュファクチャリングの新しい動向」

■1月例会 (1月19日 中央大学)

1. 風間 信隆 (明治大学) 「ドイツ自動車産業における生産近代化と『労働の人間化』の可能性」
2. 鈴木 幸毅 (駒澤大学) 「『批判的』組織理論再編-労働過程の社会学について」

■3月例会 (3月23日 明治大学)

1. 成田 修身 (日本大学) 『『ビッグ・ビジネス』(大月書店) シリーズ刊行の現代的意義-野村・住友を中心に-」
2. 永山 利和 (日本大学) 「マイグランド (migrant) 労働者と経営問題」

■4月例会 (4月20日 法政大学)

1. 高久保 豊 (慶応義塾大学) 「現代中国の科学・技術戦略と企業経営-ソフトウェア業の展開を中心として」
2. 藤井 光男 (日本大学) 「最近の日本の経営論について-丸山、熊沢、山下、3氏の諸説を中心にして」

1991年度企業経済研究会 (幹事校：駒澤大学)

■5月例会 (5月18日 駒澤大学)

平澤 克彦 (日本大学) 「現代合理化とドイツ労資関係の現状」

■6月例会 (6月15日 立教大学)

1. 平沼 高 (明治大学) 「自治体における第3次オンラインの本格的稼働について」
2. 一寸木 俊昭 (法政大学) 「書評・井上秀次郎著『戦後・日本生産管理の展開』光陽出版社」

■7月例会 (7月6日 専修大学)

1. 林 倬史 (立教大学) 「日本産業の技術開発力と技術料収支」
2. 大西 勝明 (専修大学) 「日本企業のグローバリゼーション-半導体メーカーの場合」

■9月例会 (9月21日 日本大学)

1. 青山 秀雄 (作新学院大学) 「日本の処遇管理の特質と現状」
2. 宮島 尚史 (学習院大学) 「今後の労務管理における『(男女)育休法』の機能：労働力弾力化と失業の潜在化の一側面」

■10月例会 (10月19日 )

1. 林 正樹 (中央大学) 「書評・丸山恵也・藤井光男著『日本のビック・ビジネス⑨トヨタ・日産』大月書店」
2. 加藤 志津子 (明治大学) 「日本経営学会統一論題A 報告-社会主義体制の変動と企業経営の課題-を巡って」
3. 音羽周 (ソ連東欧経済研究所) 「ペレストロイカと企業経営について」

■11月例会 (11月16日 中央大学)

1. 稲田 三津子 (日本大学) 「医療技術革新と病院経営」
2. 大内 孝夫 (保善高校) 「日本における中小企業と外国人労働者」

■12月例会 (12月7日 駒澤大学) 【シンポジウム】「現代企業経営の特質と経営学研究方法論の再検討」 司会・貫隆夫 (武蔵大学)

1. 高橋 由明 (中央大学) 「株式所有構造とトップ・マネージメント構造の国際比較」
2. 金子 秀 (埼玉大学) 「ネットワーク組織と経営学」
3. 平澤 克彦 (日本大学) 「日独中小企業の比較と中小企業論研究方法論の課題」

■1月例会 (1月18日 駒澤大学)

1. 出見世 信之 (明治大学) 「企業理論と株式会社統治 (コーポレート・ガバナンス)」
2. 薄井 和夫 (埼玉大学) 「マーチャンダイジングとインダストリアル・デザイン—1930年代の製品政策を巡って—」

■3月例会 (3月21日 法政大学)

1. 芦沢 成光 (玉川大学) 「日本鉄鋼業における協調融資の機能—昭和25年—昭和30年を対象として—」
2. 一寸木 俊昭 (法政大学) 「日本的経営と環境管理—鈴木幸毅著『環境問題と企業責任』中央経済社、1992年を手掛かりとして—」

■4月例会 (4月18日 立教大学)

1. 百田義治 (駒澤大学) 「書評・『激動期の日本労働管理 (木元進一郎博士還暦記念論文集第2集)』高速印刷出版事業部」
2. 長谷川 広 (中央大学) 「書評・奥林康司・百田和夫編著『現代の労務管理』ミネルヴァ書房」

1992年度企業経済研究会 (幹事校: 立教大学)

■5月例会 (5月16日 明治大学)

1. 林 倬史 (立教大学) 「最近の日米知的所有権摩擦と米国の国際競争力」
2. 加藤 英一 (加藤特許事務所) 「日米知的所有権摩擦と特許制度の現代的意味」

■6月例会 (6月20日 慶應義塾大学)

1. 前田 淳 (慶應義塾大学) 「ハンガリーにおける価格政策の転換と対外経済関係の変容」
2. 加藤 志津子 (明治大学) 「ペレストロイカのもとでの国有企業における管理者選考制の帰趨」

■7月例会 (7月4日 専修大学)

1. 丸山 恵也 (立教大学) 「日本の生産システムとフレキシビリティ」
2. 林 正樹 (中央大学) 「日本的経営の普遍性と異質性」

■【東西合同研究会】(9月4日 明治大学)

井上 照幸 (高崎経済大学) 「日本の情報通信関連企業と軍事技術」

■10月例会 (10月17日 日本大学)

1. 那須野 公人 (作新学院大学) 「書評・一寸木俊昭著『日本の企業経営』法政大学出版会」
2. 安藤 陽 (埼玉大学) 「JRグループの現状と課題」

■11月例会 (11月21日 駒澤大学)

1. 平澤 克彦 (日本大学) 「書評・木元進一郎・芦沢憲一編『JR 労務管理と健康破壊』日本評論社」
2. 貫 隆夫 (武蔵大学) 「戦略的同盟とネットワークの経済性」

■12月例会 (12月4日 駒澤大学) 【シンポジウム】「国際経済の構造的変化と日本企業の新動向」

1. 林 倬史 (立教大学) 「日本企業の技術移転と東アジアの工業化」  
コメンテーター・高久保 豊 (日本大学)
2. 大西 勝明 (専修大学) 「米国の競争力強化戦略と国際的提携」  
コメンテーター・日高 克平 (中央大学)
3. 池田 正孝 (中央大学) 「欧州における日系トランスプラントの部品調達問題」  
コメンテーター・広江 彰 (立教大学)

■1月例会 (1月16日 中央大学)

1. 田口 敏行 (慶応義塾大学) 「欧州のエレクトロニクス産業と企業分析」
2. 百田 義治 (駒澤大学) 「米国管理史研究の現状と課題」

■3月例会 (3月27日 法政大学)

1. 中川 香代 (明治大学) 「在英日系企業にみられる英国労使関係再編の動向—シングルユニオン・パッケージ協定と労使協議制—」
2. 角瀬 保雄 (法政大学) 「協同組合・市場経済・経済民主主義—協同組合の企業経済論」

■4月例会 (4月17日 専修大学)

1. 郭 洋春 (立教大学) 「韓国企業へのASEAN投資の現状と課題」
2. 野口 宏 (常葉学園浜松大学) 「ダウンサイジングの意味」

1993年度企業経済研究会 (幹事校: 作新学院大学)

■5月例会 (5月15日 立教大学)

1. 吉田 敬一 (東洋大学) 「バブル崩壊・不況下の中小企業問題」
2. 野口 祐 (日本大学) 「技術連関分析 (仮題)」

■6月例会 (6月26日 慶應義塾大学)

1. 劉 永鶴 (立教大学) 「中国自動車産業への日本的経営の移転」
2. 宮島 尚史 (学習院大学) 「変形労働時間制—労基法改正に関連して—」

■7月例会 (7月17日 明治大学)

1. 高橋 由明 (中央大学) 「日本企業・経営・生産システムの有効性と問題点—市場、最高管理層、作業組織、賃金、労働組合の日・独比較—」
2. 鈴木 幸毅 (駒沢大学) 「日本企業の国際貢献」

■【東西合同研究会】(9月12日 和歌山大学)

- 上田 慧 (大阪経済大学) 「現代企業のネットワーク化をめぐる諸問題」  
<コメンテーター>安藤 陽 (埼玉大学)

■10月例会 (10月16日 専修大学)

1. 名城 鉄夫 (作新学院大学) 「物流ネットワークと通信ネットワーク—トヨタ・日産・マツダを事例として—」
2. 大西 勝明 (専修大学) 「書評: 野口・貫・須藤編著『現代ネットワーク論』(ミネルヴァ書房)」

■11月例会 (11月20日 日本大学)

1. 武井 紀子 (日本大学) 「アジアにおける日系自動車企業と部品企業との企業間関係」
2. 渡辺 明 (埼玉大学) 「最近の四日市コンビナートの実態調査からの分析」

■12月例会 (12月4日 駒澤大学) 【35周年記念シンポジウム】

【記念講演】丸山 恵也 (立教大学) 「企業研の活動を振り返って今日の経営学を考える」

【シンポジウム】テーマ: 『バブル崩壊後の企業経営』

1. 斉藤 正 (駒沢大学) 「バブル経済と企業集団」
2. 小松 章 (一橋大学) 「日本企業の将来像を考える」

<コメンテーター> 角瀬保雄 (法政大学)、一寸木 俊昭 (法政大学)、高橋 昭三 (作新学院大学)

■1月例会 (1月29日 法政大学)

1. 儀我 壮一郎 (常葉学園浜松大学) 「多国籍企業における諸矛盾」
2. 鈴木 由紀子 (慶應義塾大学) 「工業化過程の銀行に関する比較研究—日本とエジプトの場合—」

■3月例会 (3月26日 専修大学)

1. 青木 俊昭 (東京情報大学) 「流通業の構造変化—最近の小売業における新たな動向—」
2. 藤井 光男 (日本大学) 「ECにおける日本の国際競争力と現地繊維産業—ECソーイングシステムと第三イタリア—」

■4月例会 (4月16日(土) 日本大学)

関口定一 (中央大学)「ジャパナイゼーションの歴史的背景—戦間期GEにおける雇用政策と労使関係—」  
総会

1994年度企業経済研究会 (幹事校: 埼玉大学)

■5月例会 (6月4日 立教大学)

1. 日高克平 (中央大学)「書評: 赤羽新太郎著『国際経営管理論序説』文眞堂、1993年」
2. 榊原貞夫 (ミネソタ大学、ゲスト・スピーカー)「日本の製造業の特性と日米比較」

■6月例会 (6月18日 法政大学)

1. 平澤克彦、高久保豊 (日本大学)「中国(社会主義市場経済)と企業経営—実態調査の中間報告—」
2. 薄井和夫 (埼玉大学)「アメリカにおけるマーケティング史研究の新潮流」

■7月例会 (7月23日 明治大学)

1. 中村瑞穂 (明治大学)「企業倫理運動の生成と展開」
2. 野口祐 (日本大学)「豆満江経営開発の現代的意義」

■【東西合同研究会】(9月8日 山梨学院大学)

吉田敬一 (東洋大学)「日本型生産分業システムの国際的再編と地域経済・中小企業の存立問題」  
<コメンテーター>二場邦彦 (立命館大学)

■10月例会 (10月16日 専修大学)

1. 百田義治 (駒沢大学)「最近の科学的管理研究の新動向について」
2. 木元進一郎 (明治大学)「日本の経営の『国際化』—人事考課・査定の日英比較—」

■11月例会 (11月20日 日本大学商学部)

1. 佐久間英俊 (中央大学)「日本パソコン市場と NEC のマーケティング」
2. 井上秀次郎 (京都経済短期大学)「日本の生産システムと労働の人間化」

■12月例会 (12月22日 慶応義塾大学)

1. 一寸木俊昭 (法政大学)「最近の経営学教科書について」(仮題)

【シンポジウム】『経営学教育の現状と課題』

高橋俊夫 (明治大学)「カリキュラム改革—その一事例」

<コメンテーター> 野口祐 (日本大学) <司会> 高橋由明 (中央大学)

■1月例会 (1月21日 立教大学)

1. 中村真人 (駒沢大学)「戦略的な企業集団形成と海外生産—労働研究の視点から—」
2. 貫隆夫 (武蔵大学)「生産性と環境性—『持続的成長』と企業経営—」

■3月例会 (3月18日 武蔵大学研究棟)

1. 金子秀 (埼玉大学)「経営戦略の現代的課題」
2. 山口孝 (明治大学)「環境保全型企業経営論序説」

■4月例会 (4月15日 明治大学大学院棟)

古賀 義弘 (日本大学)「日本造船業の現状と課題 —業界再編成から再々編成への動き—」  
総会

1995年度企業経済研究会 (幹事校: 明治大学)

■5月例会 (5月13日 駒澤大学本部棟)

1. 日高 定昭 先生 (作新学院大学)「フランスにおける経営学高等教育—グランド・ゼコールの場合—」
2. 林 倬史 先生 (立教大学)「技術体系のソフト化と技術連関」

■6月例会 (6月17日 法政大学62年館)

1. 和田 耕治 (中小企業総合研究機構)「企業年金・退職金のポータビリティ問題—中退金・特退共・適年・厚生基金の通算化—」
2. 出見世 信之 (亜細亜大学)「コーポレート・ガバナンスとアカウンタビリティ」

■7月例会 (7月22日 明治大学大学院棟)

1. 植竹 晃久 (慶応義塾大学)「現代企業の統治システムの再構築」
2. 丸山 恵也 (立教大学)「日本企業のリストラとアジア戦略」

■【東西合同研究会】(9月7日 大阪経済大学)

肥塚 浩 (立命館大学)「半導体企業の開発・生産システム」

<コメンテーター>大西 勝明 (専修大学)

■9月例会 (9月30日 立教大学)

テーマ: 「経営学会大会統一論題報告『日本企業再構築の基本問題』をめぐって」

1. 國島 弘行 (創価大学)「経営指導原理の再構築」
2. 風間 信隆 (明治大学)「企業システムの再構築」
3. 日高 克平 (中央大学)「国際化戦略の再構築」

■10月例会 (10月21日 専修大学神田校舎)

1. 文 智彦 (明治大学大学院)「組織論の動向に関する一考察—プロセス・モデルの検討を中心に—」
2. 角瀬 保雄 (法政大学)「規制緩和、大競争時代と生協経営」

■11月例会 (11月18日 日本大学商学部)

1. 秋野 晶二 (立教大学)「タイの輸出工業化とエレクトロニクス産業」
2. 田村 豊 (明治大学大学院)「ボルボ・ウッドバラの試み—その特徴と背景—」

■12月例会 (12月22日 明治大学大学院棟)

【シンポジウム】『現代経営学の基本課題—叢書『現代経営学』(ミネルヴァ書房)の刊行にあたって—』

<司会>植竹 晃久 (慶應義塾大学) 高橋 俊夫 (明治大学)

<報告>大西 勝明 (専修大学)

林 正樹 (中央大学)

貫 隆夫 (武蔵大学)

<コメンテーター>安藤 陽 (埼玉大学) 小阪 隆秀 (日本大学) 百田 義治 (駒沢大学)

■1月例会 (1月20日 中央大学駿河台記念館)

1. 関 智一 先生 (立教大学大学院)「R&D 拠点のアジア・シフトと日本半導体産業の国際経営戦略」
2. 桜井 徹 先生 (日本大学)「民営化の国際比較—不完全な民営化について—」

■3月例会 (3月16日 明治大学大学院棟)

1. 伊藤 孝 (埼玉大学)「第2次大戦後ニュージャージー・スタンダード石油会社の世界企業活動—1960年代末までを対象に—」
2. 中村 瑞穂 (明治大学)「企業倫理と“資本の倫理”—宮坂純一著『現代企業のモラル行動』(千倉書房、1995年)を手がかりに—」

■4月例会 (4月20日 慶応義塾大学 (三田))

藤井光男 (日本大学)「アジアの国際分業と日本の地場産業」

総会

1996年度企業経済研究会 (幹事校: 慶応義塾大学)

■5月例会 (6月1日 (土) 明治大学研究棟)

1. 風間信隆 (明治大学)「ドイツ生産システムとリーン生産システムとの聞き合い—1990年代のドイツ自動車産業における合理化の新局面—」
2. 一寸木俊昭 (法政大学)「現代経営学の論点をめぐって」

- 6月例会 (6月22日 (土) 駒沢大学・大学会館)
  1. 秋野晶二 (立教大学) 「企業の情報化システムと情報管理」
  2. 今井清文 (江戸川大学) 「日本における制度論的経営学」
- 7月例会 (7月26日 (金) 明治大学大学院棟)
  1. 桜井徹 (日本大学) 「規制緩和の日独比較—鉄道・運輸業を中心として—」
  2. 貫隆夫 (武蔵大学) 「情報資本主義段階の経営学」
- 【東西合同研究会】 (9月20日 (金) 一橋大学 (国立) 校舎)
 

小阪隆秀 (日本大学) 「自動車産業における企業間情報ネットワーク—企業間データ通信の日韓比較調査を中心に—」
- 10月例会 (10月19日 (土) 明治大学駿河台研究棟)
 

統一テーマ: 林正樹・坂本清編著『経営革新へのアプローチ』八千代出版、1996年

  1. 風間信隆 (明治大学) 「第2章 コーポレート・ガバナンス問題とその背景」
  2. 國島弘行 (創価大学) 「第4章 経営組織の革新」
  3. 小阪秀隆 (日本大学) 「第5章 企業間ネットワークの展開の課題と残された問題」
  4. 佐久間英俊 (中央大学) 「第8章 流通における革新」
- 11月例会 (11月16日 (土) 専修大学神田校舎)
  1. 田口敏行 (静岡学園短期大学) 「産学共同研究開発事業の動態分析—静岡県内の事例を中心に—」
  2. 大西勝明 (専修大学) 「IC・PCメーカーの現状」
- 12月例会 (12月14日 (土) 法政大学62年館)
  1. 藤本共一 (一橋大学) 「アメリカ化学企業の製品ポートフォリオ政策と国際提携—エンジニアリング・プラスチック事業のケース・スタディー—」
  2. 林偉史 (立教大学) 「研究開発の国際的展開と多国籍企業—IBM社のグローバルR&Dシステムを中心に—」
- 1月例会 (1月18日 (土) 慶応義塾大学三田校舎大学院棟)
  1. 古井仁 (東京大学) 「研究開発の国際化—研究開発子会社に対する所有戦略—」
  2. 野口祐 (創価大学) 「経営学の現状と課題—マルチメディア経営学について—」
- 3月例会 (3月15日 (土) 立教大学)
  1. 金鋼其志 「グローバル企業システムとネットワーク型組織—グローバル経営論のための一分析視覚—」
  2. 河野良治 (作新大学) 「企業文化の形成とトップの役割」
- 4月例会 (4月19日 (土) 明治大学研究棟)
 

桜林誠 「労働者派遣事業の原則自由化の条件」

総会

1997年度企業経済研究会 (幹事校: 専修大学 [前半]、法政大学 [後半])

- 5月例会 (5月17日 (土) 専修大学神田校舎)
  1. 大西勝明 (専修大学) 「電気機械工業におけるアジアでの国際分業の進展」
  2. 文載皓 (明治大学・院) 「労働法改正と韓国の労使関係」
- 6月例会 (6月21日 (土) 駒沢大学大学会館)
  1. 関智一 (立教大学・院) 「日本の技術移転システムの解体と生産ネットワークの再編」
  2. 加藤志津子 (明治大学) 「体制移行下のロシア企業—1985~1995—」
- 7月例会 (7月19日 (土) 中央大学駿河台記念館)
  1. 古井仁 (東京大学・院) 「現代企業のコンカレント・エンジニアリング—短期間での製品開発とIT戦略」
  2. 青山茂樹 (作新学院大学) 「地球環境問題と企業の社会的責任—自動車産業における環境問題への取り組みを中心に—」
- 【東西合同研究会】 (9月17日 (水) 関西大学百周年記念館)
 

三島倫八 (龍谷大学) 「アジア日系企業における異文化コミュニケーション」

<コメンテーター兼司会> 風間信隆 (明治大学)

■10月例会 (10月18日 (土) 専修大学神田校舎)

1. 李禎徹 (立教大学・院) 「韓国企業の世界化戦略の事例研究」
2. 古賀義弘 (日本大学) 「造船業における国際分業の現段階」

■11月例会 (11月15日 (土) 明治大学駿河台研究棟)

1. 植木真理子 (立教大学大学院) 「日本型経営技術の国際移転—タイ日自動車企業の実態分析」
2. 風間信隆 (明治大学) 『ドイツ的生産システムとフレキシビリティ』をめぐって」

■12月例会 (12月13日 (土) 法政大学大学院棟)

統一テーマ：日本企業システムの再検討

1. 秋野晶二 (立教大学) 「日本企業における生産システムの新展開」
2. 青木俊昭 (東京情報大学) 「流通業の現状と課題」
3. 出見世信之 (亜細亜大学) 「日本企業システムの再検討—コーポレートガバナンスの視点から」

<コメンテーター>：百田義治先生 (駒沢大学) 高橋由明先生 (中央大学)

■1月例会 (1月17日 (土) 専修大学神田校舎)

1. 李只香 (作新学院大学) 「研究開発活動の国際展開—日本における韓国企業の拠点展開を中心に」
2. 田村豊 (明治大学) 「スウェーデンにおける自動車産業の現状と課題—進む部品供給体制の集約化」

■3月例会 (3月28日 (土) 立教大学)

1. 鄭炳武 (中央大学・院) 「アメリカ企業の作業現場革新に関する事例研究—社会技術システム論の応用を中心に」
2. 郭洋春 (立教大学) 「韓国経済—危機の構図」

■4月例会 (4月18日 (土) 駒澤大学学生会館)

古井仁 (東京大学大学院) 「日本の医療制度改革の方向と薬価基準：現行薬価基準制度から日本型参照価格制度への移行に関する議論の整理  
総会

1998年度企業経済研究会 (幹事校：日本大学)

■5月例会 (5月16日 (土) 日本大学学生会館)

1. 日高克平 (中央大学) 「英国自動車産業のリストラとアライアンス；ホンダ＝ローバーの事例を中心に」
2. 貫隆夫 (武蔵大学) 「生産システム展開の方向性と論理」

■6月例会 (6月20日 (土) 日本大学理工学部)

1. 加茂紀子 (日本大学) 「マイコン内臓製品に関する技術・市場の特質と日本企業の国際競争力」
2. 百田義治 (駒沢大学) 「1920年代従業員代表制の構造と機能—ベツレヘム・スティールの事例研究—」

■7月例会 (7月25日 (土) 明治大学研究棟)

1. 黒田兼一 (明治大学) 「Honda of America の賃金体系と人事考課」
2. 林正樹 (中央大学) 『『日本の経営の進化』(税務経理協会) 上梓に当たって』

■【東西合同研究会】(9月10日 (木) 札幌大学)

関口定一 (中央大学) 「ウェルフェア・キャピタリズムと現代アメリカ労使関係」

<コメンテーター：伊藤健市 (関西大学) >

■10月例会 (10月17日 (土) 中央大学駿河台記念館)

1. 國島弘行 (創価大学) 「バーチャル企業と現代経営の課題」
2. 一楽信雄 (武蔵大学) 「21世紀のビジネス革新の方向—本格的なマルチメディア時代を迎えて—」

■11月例会 (11月21日 (土) 専修大学神田校舎)

1. 渡辺智子 (慶応大学・院) 「従業員持株制度に関する一考察」
2. 角瀬保雄 (法政大学) 「非営利・協同組織の地位と役割」

■12月例会：(12月12日(土) 日本大学商学部)

【40周年記念シンポジウム(懇親会)】ー21世紀への進路を求めてー <司会>：一寸木俊明

1. 回顧と展望

1. 木元進一郎(常葉学園浜松大学)「企業研の使命ー独自性と役割ー」
2. 林正樹(中央大学)「21世紀の研究課題ー野口宏著『情報社会の理論的探究』(関西大学出版部)によせてー」

2. 経営学研究における重要課題

1. 大西勝明(専修大学)「グローバル化と企業経営」
2. 貫隆夫(武蔵大学)「資本主義体制の変化と企業経営」
3. 野口祐(創価大学)「バーチャル・コーポレーションと新しい経営学」

<コメンテーター>：國島弘行(創価大学) 佐久間英俊(中央大学) 田村豊(明治大学)

■1月例会(1月23日(土) 駒澤大学)

1. 黒川日出男(専修大学・院)「アメリカのベンチャーキャピタルの現状と日本のベンチャーキャピタル」
2. 鈴木幸毅(駒沢大学)「企業影響圏と企業責任ー今、ビジネス・エシックスが問われるのは?」

■3月例会(1999年3月20日(土) 立教大学・太刀川記念館3階)

1. 亀倉正彦(慶応義塾大学・院)「資源ベース論から見た制度変化ーレコード回転数を巡るデファクトの確立ー」
2. 那須野公人(作新学院大学)「トヨタ生産方式のエレクトロ産業への波及」

■4月例会(4月17日(土) 日本大学商学部)

高橋由明(中央大学)「取締役会改革の現状と会社ガバナンスに関する各種報告ー自民党フォーラム・OECD報告の内容を中心にー」  
総会

1999年度企業経済研究会 (幹事校：中央大学)

■5月例会(5月15日(土) 法政大学大学院棟)

統一テーマ：『アジア経済圏と国際分業の進展』ミネルヴァ書房叢書17 丸山・佐護・小林編著)

1. 加茂 紀子(日本大学)「国際分業の進展と自動車産業・日本自動車企業のアジア戦略を中心に」
2. 古賀 義弘(日本大学)「『国際分業と造船業』を執筆して」
3. 大西 勝明(専修大学)「『国際分業と電子工業』を執筆して、及び同叢書全体の書評」

■6月例会(16月19日(土) 慶應大学三田校舎南校舎)

統一テーマ：『競争と協調の技術戦略』(ミネルヴァ書房叢書10 野口・林・夏目編著)

1. 名城 鉄夫(作新学院大学)「なぜトヨタは強いのか・系列企業間製造・販売システムを先発者として創造し繰り返し改善するから」
2. 林 倬史(立教大学)「競争のグローバル化と技術戦略の重要性」
3. 古井 仁(東京大学大学院)「現代企業のコンカレント・エンジニアリング・短期間での製品開発方式とIT戦略」
4. 野口 祐(日本大学)「競争と協調の『技術戦略』・その分析視角」

■7月例会(7月24日(土) 明治大学リバティタワー)

1. 中原 秀登(千葉大学)「研究開発者のグローバル・マネジメント・日本、英国、韓国、インドの国際比較を通して」
2. 藤本 光夫(愛知大学)「叢書4を執筆して」(序章、第1章と全体に関連して)
3. 日高 克平(中央大学)「自動車のグローバル統合と技術連鎖」
4. 赤羽 新太郎(専修大学)「グローバル企業の生産・技術戦略」
5. 大西 勝明(専修大学)「グローバル企業の経営戦略」

■【東西合同研究会】(9月8日(水) 同志社大学弘風堂)

野口 宏(関西大学) 「現代情報化と組織革新・技術と組織はどうかかわるか」  
<コメンテーター>林 正樹(中央大学)

■10月例会（10月16日（土）日本大学経済学部）

1. 李 非（立教大学外国人特別研究員）「中国の研究開発システムについて・その弊害を中心に」
2. 那須野 公人（作新学院大学）「構造不況以降における日本型企業社会・トヨタ方式と情報化より」
3. 藤本 光夫（愛知大学）『現代経営史・日本・欧米』を編集・執筆して」

■11月例会（11月20日（土）日本大学商学部）

【シンポジウム】『現代経営学の課題とミルネヴァ叢書刊行の意義』＜総合司会＞小阪 隆秀（日本大学）

シンポジウム(1) 叢書5 『産業構造転換と中小企業』＜コメンテーター＞八幡 秀一（作新学院大学）

1. 永山 利和（日本大学）『第1章 国際化・規制緩和政策下における中小企業』を執筆（編集）して」
2. 吉田 敬一（東洋大学）『序章 構造転換と中小企業の存立』、『終章 挑戦する中小企業の21世紀的展望』を執筆（編集）して」

シンポジウム(2) 叢書3 『現代企業の所有・支配・管理』＜コメンテーター＞石嶋 芳臣 先生（北海学園大学）

1. 植竹 晃久（慶應義塾大学）『序章 現代企業のガバナンス構造と経営行動』を執筆（編集）して」
2. 出見世 信之（明治大学）『第4章 企業のガバナンス構造とマネジメント構造』を執筆して」

■12月例会（12月11日（土）中央大学駿河台記念館）

1. 前田 淳（慶応義塾大学）「ドイツにおける信託公社の民営化戦略とその転換」
2. 安藤 陽（埼玉大学）「イギリス民営鉄道の現状と課題・利用者サービスの『改善』を中心に」

■1月例会（1月22日（土）専修大学神田校舎）

1. 平野 健（福島大学）「アメリカ自動車産業の部品下請の動向」
2. 河邑 肇（中央大学）「日本工作機械産業の競争優位形成過程」

■3月例会（3月18日（土）駒沢大学学生会館）

1. 安田 賢憲（創価大学大学院生）「ソフトウェアの財としての特質」
2. 百田 義治（駒沢大学）「ミッドヴェール時代のF・W・テイラーの経歴と活動をめぐって」

■4月例会（4月15日（土）立教大学太刀川記念館）

小坂 隆秀（日本大学）「東アジアの経済危機と韓国自動車産業の発展可能性」

2000年度企業経済研究会（幹事校：立教大学）

■5月例会（5月20日（土）専修大学神田校舎）

1. 鄭 炳武（中央大学）「社会＝技術システム論の発展の可能性 — 「分化」と「統合」の側面から—」
2. 林 倬史（立教大学）「競争の戦略と知的所有権」

■6月例会（6月17日（土）駒澤大学学生会館）

1. 藤原 篤志（立教大学）「イギリスにおける生産システムのジャパナイゼーションと労働～J.Bratttonの所説の検討を中心として～」
2. 林 正樹（中央大学）「日本の経営論の変化・発展と日本経営学の課題」

■7月例会（7月22日（土）国士舘大学世田谷校舎）

1. 朴 泰勲（東京大学経済学研究科博士後期課程）  
「規模の経済と製品差別化の両立のための戦略的意思決定」
2. 加藤 志津子（明治大学）「社会主義企業経営の教訓—産業民主主義との関連において—」

■【東西合同研究会】（9月8日（金）横浜市立大学瀬戸キャンパス）

貫 隆夫（武蔵大学）「現代生産システムの動向—叢書『現代生産システム論』を踏まえて—」

■10月例会（10月21日（土）慶應義塾大学三田キャンパス）

1. 青山 秀雄、那須野 公人、八幡 一秀（作新学院大学）「長野県上伊那地域における電子・通信機器産業の現状」
2. 伊東 明男（慶應義塾大学博士後期課程）「企業間関係の形成—日本中小企業を例として—」

■11月例会 (11月18日 中央大学 駿河台記念館)

【シンポジウム】シンポジウム テーマ:『ITと企業戦略』<司会>林 倬史 (立教大学)、

1. 井上 照幸 (大東文化大学)「IT産業とテレコムビジネス」
2. 田中 隆雄 (東北大学)「IT時代のソニーの組織戦略」
3. 國島 弘行 (創価大学)「IT経営とヴァーチャル・コーポレーション」  
<コメンテーター>秋野 晶二 (立教大学)

■12月例会 (12月25日(土) 明治大学駿河台校舎研究棟)

1. 林 達鎬 (立教大学)「IT企業の戦略的提携と発展プロセス」
2. 風間 信隆 (明治大学)「アジア経済危機と東アジア自動車産業の構造転換」

■1月例会 (1月20日(土) 専修大学神田校舎)

1. 松原 圭吾 (立教大学大学院)「韓国金型産業の動向」
2. 前田 淳 (慶應義塾大学)「ドイツにおける企業刷新理論の特質」

■3月例会 (3月17日(土) 法政大学市ヶ谷キャンパスボアソナードタワー)

1. 金網 基志 (八戸大学)「多国籍企業の組織管理—構造と管理メカニズム—」
2. 野口 祐 (創価大学)「インターネットビジネスの特質と限界」

■4月例会 (4月21日(土) 立教大学)

關 智一 (小樽商科大学)「米国IT多国籍企業の新たな技術戦略モデル—特許ポートフォリオ戦略とオープンR&D戦略—」

2001年度企業経済研究会 (幹事校: 駒澤大学)

■5月例会 (5月19日(土) 駒澤大学大学会館)

1. 宮島尚史 (弁護士・元学習院大学)「金融・企業・経営の『再生』の立法政策と労資関係」
2. 清山玲 (茨城大学)「書評・藤井治枝・渡辺峻編著『現代企業経営の女性労働』(叢書 現代経営学第13巻、ミネルヴァ書房、1999年)」  
なお、日本労働社会学会年報第11号に同氏の書評が掲載されています。

■6月例会 (6月16日(土) 国士舘大学世田谷キャンパス)

1. 池田武俊 (武蔵大学大学院博士後期課程)「製品群リンケージの構築による製品差別化」
2. 出見世信之 (明治大学)「書評・鈴木辰治・角野信夫編著『企業倫理の経営学』(叢書 現代経営学第16巻、ミネルヴァ書房、2000年)」

■7月例会 (7月21日(土) 日本大学商学部本館)

1. 風間信隆 (明治大学)「グローバル化の進展と生産システムの革新—ドイツ自動車産業を中心に—」
2. 林倬史 (立教大学)「IT時代の日本企業の戦略的課題」
3. 鈴木幸毅 (駒澤大学)「『循環型社会』と環境経営学」(レポート参加)

■【東西合同研究会】(9月9日(日) 桃山学院大学)

藤井光男 (日本大学)、藤本光夫氏 (愛知大学)『叢書現代経営学全20巻』(ミネルヴァ書房)刊行の意義と今後の課題

■10月例会 (10月20日(土) 慶應義塾大学三田キャンパス)

1. 青木俊昭 (東京情報大学)「書評・林正樹・井上照幸・小阪隆秀編著『情報ネットワーク経営』(叢書 現代経営学第18巻、ミネルヴァ書房、2001年)」
2. 秋野晶二 (立教大学)「情報ネットワーク化と生産システムの展開」

■11月例会 (11月17日(土) 明治大学駿河台研究棟)

【シンポジウム】「新しい時代の経営学—21世紀日本企業の課題を巡って—」

1. 出見世信之 (明治大学商学部)「日本における企業統治改革—市場主義を超えて—」
2. 塚本一郎 (明治大学経営学部)「公共サービスの革新とNPO」
3. 鈴木幸毅 (駒澤大学経営学部)「環境(サステラブル)マーケティングと持続可能性」

■12月例会 (12月15日(土) 中央大学市ヶ谷校舎)

1. 芦澤茂光 (玉川大学)「経営戦略論の課題」

2. 高橋由明 (中央大学) 「アジア通貨危機以降の東アジア企業の通過保有政策—東アジアでの共生の一方策—」

■1月例会 (1月19日(土) 明治大学)

1. 松田健 (明治大学大学院) 「ドイツのコーポレート・ガバナンスの近年の動向—資本市場とのかかわりを中心として—」
2. 佐久間英俊 (中央大学) 「新製品開発と市場創造」

■3月例会 (3月16日(土) 立教大学)

1. 呉団焜 (立教大学大学院) 「バーチャル・インテグレーション—ファンダリーを中心とする台湾半導体産業の形成プロセス—」
2. 井上照幸 (大東文化大学) 「わが国における郵便事業への民間参入—ユニバーサルサービス問題を中心として—」

■4月例会 (4月20日(土) 駒澤大学)

上田義朗 (流通科学大学) 「ラオスにおける投資環境と大学教育」

2002年度企業経済研究会 (幹事校: 明治大学)

■5月例会 (5月11日(土) 明治大学駿河台リパティタワー)

1. 山口 厚江 (作新学院大学大学院) 「高齢者保険福祉と介護ビジネス」
2. 高橋 衛 (浜松大学) 「不換制下の投資行動」

■6月例会 (6月15日(土) 専修大学 神田校舎)

1. 金 龍憲 (日本大学大学院) 「コーポレートガバナンスと企業の社会的責任—日韓比較—」
2. 河野 良治 (早稲田大学アジア太平洋研究センター) 「地方における起業家教育—山形大学のケースを中心に—」

■7月例会 (7月27日(土) 立教大学)

1. 高橋 俊一 (立教大学大学院) 「異文化経営論の再構築」
2. 貫 隆夫 (武蔵大学) 「IT自動化と労働の質的变化」

■【東西合同研究会】(9月5日(木) 明治大学 駿河台研究棟)

那須野 公人 (作新学院大学) 「変種変量生産時代の生産システム—セル生産方式とボルボ生産方式の比較検討—」  
〈コメンテーター〉坂本 清 (大阪市立大学大学院)

■10月例会(10月19日(土) 日本大学商学部本館)

1. 加藤 登宇子 (日本大学商学研究所研究員) 「公益事業発達の日仏比較—地域独占としての電灯供給事業を中心に—」
2. 吉田 敬一 (駒澤大学) 「経済構造転換の構図と地域経済・中心企業の展望」

■11月例会 (11月30日(土) 明治大学駿河台研究棟)

【シンポジウム】〈コメンテーター〉青山 茂樹 (静岡大学)

1. 平沼 高 (明治大学) 「日本における熟練形成と熟練継承の問題点」
2. 関口 定一 (中央大学) 「長期的雇用慣行—日本とアメリカ—」
3. 遠藤 公嗣 (明治大学) 「日本の『人事査定』とその後」

■12月例会 (12月14日(土) 駒澤大学大学会館)

1. 岩波 文孝 (駒澤大学) 「企業間関係とトップ・マネジメント機能に関する一考察—社会ネットワーク分析による企業間関係の構造—」
2. 野口 祐 (慶應義塾大学) 「バイオ経営の基本問題」

■1月例会 (1月18日(土) 明治大学駿河台研究棟)

1. 鹿生 治行 (立教大学大学院) 「派遣労働の問題性についての考察 —派遣労働者の勤労生活の観点から—」
2. 國島 弘行 (創価大学) 「ハリウッド・モデルと労働組合」

■3月例会 (3月15日(土) 明治大学駿河台研究棟)

1. 築場 保行 (日本大学) 「中国伝統管理思想について」
2. 名城 鉄夫 (作新学院大学) 「自動車の開発と販売の相互作用の定量分析」

■4月例会 (4月19日(土) 明治大学駿河台研究棟)

加茂 紀子 (日本大学) 「ASEAN 域内分業をみる新しい分析枠組み—『共有地の悲劇』モデルで何が見えるか?—」

2003年度企業経済研究会（幹事校：作新学院大学）

■5月例会（5月17日（土）明治大学駿河台研究棟）

1. 田口 敏行（静岡産業大学）「研究開発戦略の課題と展望—産学協同と知的資産活用マネジメントのありかた—」
2. 關 智一（小樽商科大学）「日本多国籍企業の技術戦略進化とその問題点—日本多国籍企業へのアンケート調査を中心に—」

■6月例会（6月21日（土）立教大学）

1. 芦澤 成光（玉川大学）「戦略策定プロセスと本社機能」
2. 林 正樹（中央大学）「日本企業のアジア経営戦略批判—理論仮説アンケート調査分析—」

■7月例会（27月19日（土）専修大学 神田校舎）

1. 前橋 明朗（作新学院大学）「書評：佐久間信夫 著『企業支配と企業統治』（白桃書房）」
2. 文 載皓（富士常葉大学）「韓国の企業倫理の現状と課題—財閥企業を中心に—」

■【東西合同研究会】（9月4日（木）愛知学院大学）

竹田 昌次（中京大学）「グローバル化と人事・労務管理研究の課題」

■10月例会（2003年10月18日（土）早稲田大学）

1. 松本 典子（駒澤大学大学院）「ボランティアとNPO」
2. 赤羽 新太郎（専修大学）「現代職務設計戦略」

■11月例会（11月15日（土）明治大学リバティータワー23階第8会議室）

1. 趙 容（日本大学大学院）「中国企業の成長と経営戦略—ハイアール集団を中心として—」
2. 尹 卿烈（立教大学大学院）「日韓移動通信企業の競争優位の構築プロセスに関する一考察」

■12月例会（12月13日（土）慶應義塾大学三田キャンパス）

1. 名城 鉄夫（作新学院大学）「セブンイレブンの共同開発」
2. 野口 祐（慶應義塾大学名誉教授）「バイオ経営の現代的問題点」

■1月例会【関東会計研究会・企業経済研究会合同研究会】（2004年1月10日（土）日本大学商学部本館）

1. 中村 瑞穂（明治大学名誉教授/作新学院大学教授）「経営学の歴史と現状—100年の歩み—」
2. 角瀬 保雄（法政大学名誉教授）「日本の医療経営の現状と診療報酬のあり方」

■3月例会（3月19日（金）中央大学後楽園キャンパス（理工学部））

1. 西 剛広（明治大学大学院）「米国企業の取締役機能と企業統治—組織論的・社会的アプローチ—」
2. 青木 英孝（千葉商科大学）「経営トップ交代の効果とガバナンスの影響：エントレンチメント・コストからの接近」

■4月例会（4月17日（土）日本大学商学部）

国島 弘行（創価大学）「市民のための経営学—21世紀、今批判的経営学の社会的意義を考える—」  
総会

2004年度企業経済研究会例会（幹事校：日本大学）

■5月例会（5月15日（土）立教大学）

1. 荒井 将志（立教大学・院）「戦略論における知的財産権の位置」
2. 小松 章（一橋大学）「株式会社の限界と新領域—日本版LLC、株式会社立大学などをめぐって—」

■6月例会（6月19日（土）駒澤大学）

1. 藤野 真（駒澤大学・院）「小集団活動の新たな動向—バブル経済崩壊後を中心として—」
2. 所 伸之（玉川大学）「進化し深化する環境経営と経営学の課題」

■7月例会（7月17日（土）専修大学神田校舎）

1. 天羽光宏（立教大学・院）「イノベーションプロセスとイノベーション型組織」
2. 儀我社一郎（大阪市立大学名誉教授）「日本の医療と製薬企業の新局面」

■【東西合同研究会】(9月2日(木) 早稲田大学)

前田淳(慶応義塾大学)「ドイツにおける企業刷新理論の批判的検討と現実への指針」

<コメンテーター>:海道ノブチカ(関西学院大学)

■10月例会(10月16日(土) 慶応大学三田キャンパス)【関東会計研究会との合同研究会】

1. 水村典弘(埼玉大学)「コーポレートガバナンスとステークホルダー」
2. 小関 勇(日本大学)「大学におけるガバナンスー営利企業のガバナンスとの比較においてー」

■11月例会(11月20日(土) 明治大学リバティタワー)

【シンポジウム】「企業の社会的責任と批判経営学の課題」<コメンテーター>植竹晃久(慶応大学)、林正樹(中央大学)

1. 高橋由明(中央大学)
2. 出見世伸之(明治大学)
3. 貫 隆夫(大東文化大学)

■12月例会(12月18日(土) 日本大学経済学部)

1. 藤原篤志(駒澤大学)「イギリスにおける生産管理の新展開と労働」
2. 芦沢成光(玉川大学)「日本の製造企業における戦略プロセスパターン」

■1月例会(1月22日(土) 中央大学多摩キャンパス)

1. 安田賢憲(東京富士大学短期大学部)「ソリューションビジネスにおけるソフトウェア生産の標準化問題についてー中堅インテグレーターP社の事例からー」
2. 黒田兼一(明治大学)「GMにみるリーン生産システムとUAW」

■3月例会(3月19日(土) 埼玉大学・東京ステーション・カレッジ(TSC))

1. 市田陽児(日本大学)「競争優位と情報システム」
2. 百田義治(駒澤大学)「経営組織における効率性と人間性ーCSRの根本問題に関連づけてー」

■4月例会(4月16日(土) 日本大学商学部)

小阪隆秀氏(日本大学)「グローバル・リスク時代の『企業と社会』」

会員総会

2005年度企業経済研究会(幹事校:中央大学)

■5月例会(5月15日(土) 中央大学)

1. 孫 榮振(ソン・ヨンジン)(中央大学大学院)『リージョナル企業論』の構築に向けてー多国籍企業と地域ー」
2. 風間信隆(明治大学)『共生型』モノづくりと生産システム革新ーVW社の「5000×5000」プロジェクトと正規雇用の創出努力ー」

■6月例会(6月25日(土) 立教大学)

1. 秋野晶二(立教大学)「EMSの形成・発展とその位置」
2. 一寸木俊昭(松本大学)「現代の産業社会の改革と『民生社会』日本の考察」

■7月例会(7月16日(土) 駒澤大学)

1. 山下裕介(駒澤大学大学院)「企業倫理の内部制度化:複合型アプローチの論理」
2. 安藤 陽(埼玉大学)「JR西日本福知山線事故と株主・企業・経営者の責任」
3. 那須野 公人氏(作新学院大学)「バブル崩壊後における日本の生産システムの特質とその課題」

■【東西合同研究会】(9月8日(木) 九州大学) コメンテーター: 國島弘行(創価大学)

山崎敏夫(立命館大学)「科学的経営学」の新展開ー山崎敏夫著『現代経営学の再構築』(森山書店)をめぐるー」

■10月例会(10月15日(土) 明治大学)

『環境問題の経営学』(ミネルヴァ書房叢書現代経営学19巻、高橋由明・鈴木幸毅編著)

1. 山口由二(大東文化大学)「拡大生産者責任と廃棄物会計ー特に容器リサイクルについてー」
2. 所 伸之(玉川大学)「8章、9章を執筆して」

3・鈴木幸毅（駒澤大学）「環境経営の管理論について」

4. 貫 隆夫（大東文化大学）「章を執筆して」

■11月例会（11月19日（土）大東文化大学）

1. 野口 祐（元慶応義塾大学）「バイオ経営学の基本的諸問題」

2. P.S.アドラー他編著、林 正樹監訳『リメイド・イン・アメリカ』（中央大学出版部、2005年）

林 正樹氏（中央大学）『リメイド・イン・アメリカ』が提起したもの」

岡村龍輝（中央大学・院）「管理方式の国際移転と再文脈化（第2章と第4章）」

李廷ミン（中央大学・院）「北米の日系電機企業における生産方式（第8章）」

島内高太（中央大学・院）「北米で修正されるトヨタの作業組織（第6章，第10章，第11章）」

奥寺 葵（中央大学・院）「北米におけるトヨタのHRM方策（第3章）」

山田雅俊（中央大学・院）「工場固有の組織学習（第7章）」

國島弘行（創価大学）「作業組織論の3つの潮流（第12章）」

黒田兼一（明治大学）「書評：『リメイド・イン・アメリカ』」

■12月例会（12月17日（土）中央大学）

1. 清水一之（明治大学・院）「機関投資家のコーポレート・ガバナンスと企業の社会的責任—ドイツのSRI市場の動向を参考に—」

2. ミネルヴァ叢書現代経営学第8巻『経営組織の論理と変革』

百田義治（駒澤大学）『経営組織の論理と変革』（叢書 現代経営学第8巻、ミネルヴァ書房）の主要な論点と残された課題について」

小阪隆秀（日本大学）「第1章を執筆して」

■1月例会（1月14日（土） 専修大学）

【シンポジウム】「グローバル化と経営・会計学」

1. 小栗崇資（駒澤大学）「会計グローバル化の現段階—国際会計基準を中心に—」

2. 林 倬史（立教大学）「グローバル化と経営学」

■3月例会（3月18日（土）日本大学）

『叢書 現代経営学』（全20巻、ミネルヴァ書房）の到達点と課題—全巻刊行を記念して—

秋野晶二（立教大学）「今日の生産ネットワークの変容について」

貫 隆夫（大東文化大学）「批判経営学における批判の基礎は何か？」

百田義治（駒澤大学）『叢書・現代経営学』（全20巻）の刊行意義と今後の課題」

吉田敬一（駒澤大学）「メイド・バイ・ジャパン時代の企業・労働・地域について」

■4月例会（4月15日（土）中央大学）

1. 矢口義教（明治大学・院）「イギリスのコーポレート・ガバナンス—石油産業の事例から—」

2. 岡村龍輝（中央大学・院）「企業間協力関係の戦略的意義—企業戦略と環境との相互関係について—」

会員総会

2006年度企業経済研究会（幹事校：駒澤大学）

■5月例会（5月20日（土）駒澤大学）

1. 藤野 真 氏（駒澤大学・院）「生産システム特性と小集団活動」

2. 溝口理一郎 氏（元日本大学研究員）大学発ベンチャーの生成とプロパテント政策の影響」

■6月例会（6月24日（土）立教大学）

1. 施 杭 氏（明治大学・院）「中国の自動車産業におけるモジュール化の動向と課題」

2. 孫 榮振 氏（中央大学・院）「韓国現代（ヒュンダイ）自動車の多国籍化—80年代におけるカナダへの直接投資の失敗と教訓—」

3. 山口厚江 氏（作新学院大学）「高齢者介護ビジネスの社会的責任」

『高齢者介護ビジネスの社会的責任』文眞堂 2005年)

■7月例会(7月15日(土) 専修大学)

1. 百田義治氏(駒澤大学)「企業社会責任(CSR)と経営学の基本問題—労働・人権の問題を中心に—」
2. 桜井 徹氏(日本大学)『競争と規制の経営学』(ミネルヴァ書房叢書現代経営学第6巻)

■【東西合同研究会】(9月7日(木) 慶応義塾大学)

- フランク・デッペ(Frank Deppe)氏 (マールブルク大学)「ヨーロッパ統合とドイツ資本主義」  
コメンテーター: 林昭氏(龍谷大学名誉教授)

■10月例会(10月21日(土) 日本大学)

1. 崔 文善氏(日本大学・院)「DVD開発にみるデジタル技術革新の特質—記録媒体の統一化—」
2. 平澤克彦氏(日本大学)「ドイツにおける企業共同決定制の成立について」

■11月例会(11月18日(土) 明治大学)

1. 清水一之氏(明治大学・院)「ドイツのコーポレート・ガバナンスと企業の社会的責任; 資本市場からのアプローチ」
2. 文 載皓氏(富士常葉大学)「韓国のコーポレート・ガバナンス-ゲート・キーパーを手掛かりとして-」

■12月例会(12月9日(土) 駒澤大学)

1. 山下裕介氏(駒澤大学・院)「企業の社会的責任と企業倫理」
2. 吉田敬一氏(駒澤大学)「グローバル化の中での持続可能な地域経済振興—奪い合う経済から育てあう経済へ—」

■1月例会(1月13日(土) 中央大学)

1. 高山朋子氏(東京経済大学)「会社法に基づく資本会計の諸問題」
2. 小松 章氏(一橋大学)「株式会社制度をめぐる近年の動向」

■3月例会(3月17日(土) 駒澤大学)

【シンポジウム】「企業の社会的責任(CSR)と批判経営学」コメンテーター: 百田義治氏(駒澤大学)

1. 風間信隆(明治大学)「ドイツの資本市場の変容とコーポレート・ガバナンス」
2. 小阪隆秀(日本大学)「社会による企業ガバナンスの可能性」
3. 水村典弘(埼玉大学)「ステークホルダー論者のロジックと現代経営学のドグマ—現代企業と経営管理上の価値判断の基準をめぐる—」

2007年度企業経済研究会(幹事校: 明治大学)

■5月例会(5月28日(土) 明治大学)

1. 松田健(駒澤大学)「利害多元的社会と企業体制—ドイツにおける「対話」概念の検討を通じて—」
2. 市田陽児(日本大学)「日米自動車産業部品取引における情報ネットワークと企業間関係」

■6月例会(6月16日(土) 専修大学)

1. 大西勝明(専修大学)「書評: 井上照幸・林 倬史・渡邊 明編著『ユビキタス時代の産業と企業』(税務経理協会刊)」をめぐる」
2. 高橋俊夫(明治大学)「現代企業論—株式会社試論—」

■7月例会(7月28日(土) 明治大学)

1. 遠藤雄二(九州大学)「人間らしい働き方と21世紀の日本社会」
2. 馬越恵美子(桜美林大学)「異文化経営とダイバーシティ・マネジメント: 系譜と試論」

■【東西合同研究会】(9月6日(木) 追手門学院大学)

守屋貴司(立命館大学)「現代日本企業における成果主義と労使関係」  
司会者・コメンテーター: 黒田兼一(明治大学)

■10月例会(10月20日(土) 駒澤大学)

1. 山下智佳氏(明治大学大学院)「病院経営における二重権限概念検討の意義」
2. 桜井徹(日本大学) / 林正樹(中央大学) / 平沼高(明治大学) / 百田義治(駒澤大学)  
「日本経営学会第81回全国大会を振り返って—今大会の主要な論点をめぐって—」

■11月例会 (11月17日(土) 明治大学) 【企業経済研究会・関東会計研究会合同研究会】

1. 田村八十一 (日本大学) 「M&A と経営分析の課題」
2. 高橋由明 (中央大学) 「米・欧2つの企業・資本市場モデルからみた日本のM&Aの問題点」

■12月例会 (12月22日(土) 中央大学)

1. 中川圭輔 (明治大学大学院) 「韓国における企業倫理の制度化に関する一考察ーガバナンスとステイクホルダーの変容に着目してー」
2. 長山宗広 (駒澤大学) 「浜松地域における産業集積の動向」

■1月例会 (1月12日(土) 明治大学)

1. 國島弘行 (創価大学) 「市民社会と市民経営学をめぐって」
2. 馬頭忠治 (鹿児島国際大学) 「新しい法人としての社会的企業について」

■3月例会 (3月22日(土) 明治大学)

1. 岡本義輝 (宇都宮大学大学院) 「商品開発(R&D)の国際移転論ーマレーシアにおける日系AV企業R&D移転の実証的研究ー」
2. 畑 隆 (富士常葉大学) 「自動車企業の賃金制度と労使協議ー日本の大企業B社の事例ー」

■4月例会 (4月19日(土) 明治大学)

1. 高橋俊一 (立教大学・院) 「企業内国際知識移転の困難性の要因に関する研究」
2. 赤羽新太郎 (専修大学) 「21世紀のグローバリゼーションのゆくえと課題」  
会員総会

2008年度企業経済研究会 (幹事校: 立教大学)

■5月例会 (5月17日(土) 立教大学)

1. 金網 基志 (八戸大学) 「暗黙知の移転と多国籍企業」
2. 坂本 雅則 (龍谷大学) 「構造的支配ー権力パラダイムの到達点」

■6月例会 (6月21日(土) 立教大学)

高橋俊夫(明治大学) / 矢口義教(明治大学 / 西剛広(明治大学) / 清水一之(明治大学) / 円城寺敬浩(東京富士大学) / 松田健(駒澤大学)  
「EU企業の体制・戦略・社会性 ー高橋俊夫編著『EU企業論 体制・戦略・社会性』(中央経済社)を中心に」

■7月例会 (7月26日(土) 明治大学)

1. 那須野 公人 (作新学院大学) 「インド経済の発展と製造業の本格的離陸ーインド企業視察報告ー」
2. 大西 勝明 (専修大学) 「厳しい経済環境に直面しつつある中国電気機械工業」

■【東西合同研究会】(9月4日(木) 一橋大学)

所 伸之 (日本大学) 「環境経営と持続的競争優位」

■10月例会 (10月18日(土) 明治大学)

1. 山口 尚美 (明治大学大学院) 「企業倫理の制度化に向けての一考察ーシュタインマン学派の学説を中心にー」
2. 關 智一 (東洋大学) 「グローバルR&Dの戦略的意義とその再考ー知識集積国への立地依存がもたらす弊害ー」

■11月例会 (11月22日(土) 立教大学)

1. 大久保 裕隆 (立教大学大学院) 「情報マネジメントによる競争戦略」
2. 櫻井 秀子 (作新学院大学) 「イスラーム金融市場の現代的意義」(『イスラーム金融』新評論)

■12月例会 (12月13日(土) 明治大学)

1. 大山田 雅俊 (中央大学大学院) 「環境ビジネスの経営原理ーコミュニティ・ビジネスの事例から」
2. 儀我 壮一郎 (大阪市大名誉教授) 「多国籍製薬企業の歴史的動向」

■1月例会 (1月17日(土) 立教大学) 【企業経済研究会・関東会計研究会合同研究会】

1. 山口 孝 (明治大学名誉教授) 「福岡純真学園・東和大学 多数解雇と経営分析」
2. 野口 佑 (慶應義塾大学名誉教授) 「新たな恐慌と現代経営学の課題」

■3月例会 (3月21日(土)明治大学)

1. 齊藤 豊 (立教大学大学院) 「産業集積地における頭脳循環と国際技術移転—シリコンバレーにおけるインド人 ICT 技術者の役割」
2. 富野 貴弘 (明治大学商学部) 「日産生産方式と受注生産に関する考察」

■4月例会 (4月21日(土)立教大学)

1. 文 載 皓 (富士常葉大学) 「SCMにおけるCSR 戦略の展開 - サプライヤー行動憲章を中心に - 」
2. 國 島 弘 行 (創価大学) 「社会と企業」の経営学」

会員総会